

石川町

議会だより

No. 195

平成30年 5月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会



▲第10回石川さくらロードレース大会

2018

3月定例会

- P2 **3月定例会 審議結果**

- P6 **紙上中継(各常任委員会)**

- P7 **3月定例会 一般質問**

- P13 **あれからどうなった?**
(一般質問のその後は)

- P14 **議会報告と町民の意見を聞く会**

105億8,618万円

平成30年度予算決まる



▲改修された沢田地区拠点施設

石川町監査委員の 選任並びに 人権擁護委員の 推薦について

任期満了に伴い、石川町監査委員の選任につき同意を求めることについて、南條一夫氏（字下泉）を同意しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、小松広江氏（字境ノ内）の推薦を適任としました。

平成30年3月定例会は、3月8日から16日までの9日間の会期で開かれ、条例案件16件、補正予算4件、当初予算9件、指定管理者の指定2件、変更契約の締結2件、人事案件2件、請願5件、議員発議5件の合計45件を審議しました。

一般質問には、6人の議員が登壇し、町政を問いました。また、61人の傍聴がありました。

一般会計・特別会計 総額

「みんなが主役 協働と循環のまち」

● 基本目標 ●

保健・福祉・医療

健やかで人にやさしいまち
事業費／50億6,840万円

- 地域福祉の推進
- 児童福祉の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 人権尊重・男女共同参画の推進
- 保健・医療の充実
- 保険制度の充実

産業

にぎわいと活気のあるまち
事業費／6億5,332万円

- 農林業の振興
- 商業の振興
- 企業の振興
- 観光の振興

生活・環境

安全・安心で快適なまち
事業費／17億1,505万円

- 土地利用の推進
- 資源循環の推進
- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 公共交通機関の充実
- 生活道路の充実
- 河川環境整備の推進
- 町営住宅の充実
- 上水道の整備
- 放射能対策の推進

教育・文化・スポーツ

豊かな心と文化を育むまち
事業費／6億617万円

- 生涯学習の充実
- 青少年の健全育成
- 学校教育の充実
- 文化の振興と文化遺産・鉱物の保存・活用

町民・行政

町民の信頼に応えるまち
事業費／1億2,442万円

- 情報化の推進
- 町民参加の推進
- 効率的な行財政の運営
- 広域行政・地方分権の推進

地域自治

ともに力を合わせてつくるまち
事業費／5,736万円

- 石川地区まちづくり計画
- 沢田地区まちづくり計画
- 山橋地区まちづくり計画
- 中谷地区まちづくり計画
- 母畑地区まちづくり計画
- 野木沢地区まちづくり計画

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果
議案 第4号	町税・保険料の納期の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 全 員
議案 第5号	石川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決 全 員
議案 第6号	石川町自治センター条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第7号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第8号	石川町ふるさとまちづくり応援寄付条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第9号	石川町児童館設置条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第10号	石川町児童館使用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第11号	石川町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	原案可決 賛成多数
議案 第12号	石川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第13号	石川町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第14号	石川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第15号	石川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第16号	石川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第17号	石川町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第18号	石川町町営住宅設置条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第19号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 全 員
議案 第20号	平成29年度石川町一般会計補正予算（第8号）	原案可決 全 員
議案 第21号	平成29年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全 員
議案 第22号	平成29年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全 員
議案 第23号	平成29年度石川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全 員
議案 第24号	平成30年度石川町一般会計予算	原案可決 全 員
議案 第25号	平成30年度石川町国民健康保険特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第26号	平成30年度石川町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第27号	平成30年度石川町介護保険特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第28号	平成30年度石川町母畑財産区特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第29号	平成30年度石川町中谷財産区特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第30号	平成30年度石川町土地開発事業特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第31号	平成30年度石川町宅地造成事業特別会計予算	原案可決 全 員
議案 第32号	平成30年度石川町水道事業会計予算	原案可決 全 員
議案 第33号	石川町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について	原案可決 全 員
議案 第34号	母畑レークサイドセンターレストハウスに係る指定管理者の指定について	原案可決 全 員
議案 第35号	旧沢田中学校校舎活用改修工事請負変更契約の締結について	原案可決 全 員
議案 第36号	旧沢田中学校旧校舎等施設解体工事請負変更契約の締結について	原案可決 全 員
議案 第37号	石川町監査委員の選任について	同 意 全 員
議案 第38号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任 全 員

議案番号	請願・発議	審議結果
請願 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採 択 全 員
請願 第2号	日米地位協定の抜本的改正を求める請願	採 択 全 員
請願 第3号	「カジノリゾート整備法案」の国会提出に反対するとともに、「カジノリゾート推進法」の廃止を求める請願	採 択 全 員
請願 第4号	生活保護基準引き下げの撤回を求める請願	採 択 全 員
請願 第5号	生活保護世帯の子どもたちの大学等への進学に関する請願	採 択 全 員
発議 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決 全 員
発議 第2号	日米地位協定の抜本的改正を求める意見書	原案可決 全 員
発議 第3号	「カジノリゾート整備法案」の国会提出に反対するとともに、「カジノリゾート推進法」の廃止を求める意見書	原案可決 全 員
発議 第4号	生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書	原案可決 全 員
発議 第5号	生活保護世帯の子どもたちの大学等への進学に関する意見書	原案可決 全 員

賛否の討論

◎議案第11号
石川町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

本案は敬老祝金の支給について、75歳へ達した方へ2千円から3千円へ増額し、88歳へ達した方への5千円は据え置くとともに、100歳へ達した方への特別祝金を50万円から30万円へ減額する提案がされました。

【反対】 特別敬老祝金を50万円から30万円へ下げることには反対します。100歳まで生きることが本人の健康に対する意識、また家族の協力などが欠かせないと思います。そうした中で祝金を受け取ることや喜びや励みとなり、支えてきた家族に対し町として感謝の気持ちを祝金という形で渡すことは大変素晴らしいことだと思います。100歳まで長生きする人は毎年多くなってきたと言いますが、それでも全体から見れば極僅かであり、また、石川郡内の

祝金は50万円であると伺っており、安易に減額することに対しては反対します。(関根武一)

【賛成】 これからの社会状況は長寿化を迎え、県内でも100歳へ到達した方が1,000人に達しています。本町においても、平成30年度は7人、31年度は14人が見込まれております。

現在の社会背景として医療が高度化し、早期発見と早期治療が行われるなど社会保障制度も確立され、人生100年時代は夢でない社会に近づいております。

また、県内の実態を調べてみますと、30万円以下が48市町村で81%を占めており、50万円以上が11市町村で19%、そして、10万円以下が29市町村で49%という実態であり、人生100年時代を迎えつつある社会状況の中で、敬老祝金30万円以下が81%を占めているという現実も見据えるべきであると考え賛成します。(永沼一夫)

◆審議結果 「可決」(賛成多数)

議案番号	議案	議員番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
			議決結果(賛・反)	根本 重泰	近内 雅洋	瀬谷 寿一	小木 芳郎	増子美知夫	草野 伝明	関根 武一	渡辺 実	瀬谷 京子	永沼 一夫	矢内 義将	中村孝太郎	山田 英重
議案第11号	石川町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	原案可決(9・4)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	-

第1回臨時議会

1月31日

第1回臨時議会は、平成30年1月31日に開催され補正予算1件、変更契約の締結1件が審議されました。

補正予算の内容は文教福祉複合施設の石綿除去工事費や電算システム委託費など、2億350万円を増額補正するとともに、下泉地内の町営住宅建設工事変更により93万8千円を増額し、契約金額を1億7892万円とする請負変更契約を締結する提案がされました。

審議の結果はいずれも全員異議なく可決されました。

第2回臨時議会

2月13日

第2回臨時議会は、平成30年2月13日に開催され文教福祉複合施設整備工事費を1億9989万円増額し、契約金額を1億195万円とする請負変更契約の締結1件が審議されましたが、全員異議なく可決されました。



総務産業建設常任委員会

Q 平成29年度のイノシシ被害状況は。

A 平成29年度もイノシシによる農作物の被害が町内各地で発生し、水田の畦畔の掘り起こしや稲の踏み荒らしなどが確認されました。このような状況の中で石川町鳥獣被害対策実施隊に捕獲を依頼し、今年度も100頭以上のイノシシを捕獲しましたが、被害が依然として増加しております。

Q 平成30年度におけるイノシシ対策は。

A イノシシによる農作物の被害が増加していることを踏まえ、新たな対策として平成30年度より電気柵設置に対し、補助金を交付することとなりました。

◀ソーラー型電気柵



Q 補助の内容は。

A 個人で申請する場合は、購入費の2分の1以内で10万円を限度に補助します。また、3戸以上の個人で構成され、かつ耕作地が連続している場合は団体として申請することができ、購入費の2分の1以内で100万円を限度に補助します。

文教厚生常任委員会

Q 石川中学校調理場建設事業とは。

A 現在の施設は、建設から約40年を経て老朽化が進んでいるため、平成30年度、31年度の2ヶ年事業で新たに調理場を建設するもので、31年度2学期からの供用開始を目指しています。建設場所は、石川中学校東側駐車場になります。

Q どのような調理場になるのですか。

A ドライシステムの調理場になります。ドライシステムとは、調理機器等からの排水は排水管を通して流すため、床を乾いた状態で使用できる方式です。

これにより、床からの跳ね水による二次汚

染を防ぐほか、場内の湿度を低く保てるため、細菌の増殖を抑え、食中毒の発生要因を少なくできます。

また、作業内容ごとの区域を明確に区分し、高い衛生水準を確保します。使用熱源についてはガスと電気の併用方式とし、導入経費と維持管理経費の縮減を図ります。



▶楽しい給食

Q 鉱物館整備スケジュールは

A H30年度に基本構想を策定し H33年秋ごろにオープン予定



瀬谷 寿一 議員

● 鉱物館整備について

質問 鉱物館の特徴は。

答弁 国内最大規模のベグマタイト

鉱物標本の展示、希元素鉱物と放射線教育、また、和久観音山鉱山跡をフィールドミュージアムとして整備し二つの施設を連携します。

質問 本町の特徴として変成岩（片麻岩）をテーマとして加え、ジオパークの取り組みもすべきだ。

答弁 福島県の石としてベグマタイトと片麻



▲美しく大きい結晶が特徴

岩が指定されました。鉱物館構想には必ずその分野も入ってきます。鉱物館を基幹施設としてジオパーク認定まで結びつくのではと考えています。

質問 石川町の鉱物館構想は、県の財産でもある。将来、県施設への戦略を持って取り組むべきだ。

答弁 戦略的にそうした県の博物館分館的な構想を位置付けていくことは大きなことです。前向きに取り組んでいきます。

質問 政府系研究機関で最大の産業技術総合研究所（地質調査所地

質標本館）との連携を重視していただきたい。
答弁 産総研とは、今後協力関係を密にしていきます。

要望 小さくとも質の高い、子どもたちが何度でも行きたくなるような鉱物館を目指してほしい。

● 認定こども園整備について

質問 認定こども園の基本構想は。

答弁 基本構想は、新たな認定こども園の施設の規模や建設場所を一つに絞るのではなく既存の施設も含め今後の基本計画策定の基礎となるものです。

質問 石川町の特徴である私立と公共のバランスのとれた幼児教育・保育環境が重要と思うが。

答弁 議員の考えの通

りになっていくだろうと思っております。

質問 認定こども園整備のスケジュールは。

答弁 30年度内に基本計画に着手し、完成まで4年から5年かかると考えています。

● 中二小活用について

質問 新しいまちづくり手法としての法人活用への指導・支援は。

答弁 文教福祉複合施設においてもその中の一部の機能に民間の方々が法人を設立し、運営ができないか仕掛けをしていることから町としても何らかの支援を考えています。

今後必要となる財源については、地方創生の拠点整備交付金もしくは、推進交付金などが用意されていることからその中で判断しながら支援をしていきます。

Q 文教福祉複合施設約2億円の追加は

A 全額が石綿含有建材等の除去工事に



瀬谷 京子 議員

質問 昨年8月に工事費8億1200万円の契約を交わした。その後の追加の内容は。

答弁 昨年3月、国のマニュアル改定により外壁の仕上げ塗材の石綿調査が義務化され、調査の結果、外壁塗材の下部調整剤に石綿含有が判明したため、石綿除去の工事を追加するものです。

質問 財源の内訳は。
答弁 当初額の8億1200万円に今回の約2億円を

追加し、10億1200万円となります。内訳は、既に交付決定を受けている空き家再生総合支援補助金4億5000万円、現在申請中の過疎対策事業債で5億5000万円を見込んでおり、残り約1200万円を一般財源でまかなう予定です。

質問 国の改定による追加なのでこの分の国の補助金はないのか。
答弁 既に交付決定を受け、着手もしているので現段階では可能性はないと考えます。



▲石綿除去工事が進む旧石川小校舎

質問 供用開始は。
答弁 平成31年4月を予定しています。

質問 運営と管理は。

答弁 基本的には町が施設管理および運営をしますが、企画や機能の一部が町民の活力で運営できる体制づくりを目指し、町民の皆様とワークショップを通し話し合いを進めます。

要望 町の核となる施設、町民も期待している。運営方法を十分に検討してほしい。

Q 県立石川高校振興連絡協議会(会長石川町長)の目的は

A 県立石川高校の充実を図り、石川地方の振興・発展に寄与する

質問 組織は。
答弁 石川地方の町村

長、議会議長、同窓会等70名の会員で昨年12月設立しました。

質問 取り組みは。

答弁 生徒数減少を踏まえ、今後のあり方を検討し、教育環境の充実と魅力ある学校づくりを支援していくため、中学校やPTAと情報交換し、学校活動の充実に向けた対策を行っていきます。

質問 地域と学校の連携は。

答弁 生徒のキャリア育成のため授業の一環として、年間を通し企業で体験実習する「石川ワーク&ライフ教育」や「まちなかプレイスメイキング事業」等で二つの高校と共に、まちづくり活動に寄与していただいています。引き続き、町ぐるみで生徒の学びを支援してまいります。

Q 高齢者など、交通弱者向けの「予約型乗合タクシー」の進捗状況は？

A 今年の10月から実証実験を行う



増子美知夫 議員

質問 「交通不便解消プロジェクト」は、スピード感をもって、進んでおり、いよいよ「実証実験」の段階に来ているが、今後の進め方は。

答弁 「予約型乗合タクシー」の実証実験は、自治協議会で独自に検討してきた沢田地区を選定し、今年の八月までに計画策定、十月からの運行を予定しています。

質問 認知機能低下による「自主運転免許返納」の高齢者に対し、支援施策を実施してい

る市町村が増えている。本町の取り組みは。

答弁 支援を実施している市町村の事例・返納者の声を参考に年度内の中で検討します。

質問 小中学校の情報通信技術の環境整備は、どのように取り組んできたのか伺う。

答弁 IT機器のタブレットを小学校に83台、中学校に37台導入、平成三十年度は、2クラス同時に活用できるように環境整備を指します。

質問 平成三十年年度、移行期となる「新学習指導要領」の完全実施に向け、どのような対応を考えているのか。

答弁 今年度から小学校、来年度から中学校の道徳が教科化されま

す。「考え・議論する道徳」を目指します。また三十二年度の小学校「外国語教育」の完全実施に合わせ、来年度より英語専科の教員を配置します。

更に、四年前から取り組んでいる「学び合い」学習も継続していく考えであります。

質問 今年度に解体予定の沢田自治センター、児童館の跡地を定住促進として、若い世帯向けの分譲地に、活用できないか伺う。

答弁 未利用地の有効活用を検討することとしています。本町の子どもたちの増加を図ることは重要課題であります。

地域の皆さんと協議を重ね、そういう地域づくりを進めていきたいと考えております。



▲今年度に解体予定の施設（沢田自治センター・沢田児童館）の跡地（約2,200坪）

Q 増え続ける耕作放棄地対策は

A 農地流動化補助金や農地中間管理事業等活用する



草野 伝明 議員

質問 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金という補助事業に本町では取り組んできたか。

答弁 過去に取り組んだ経緯はあるが耕作不能地を整備するより現在使える農地を有効活用している状況です。

質問 積極的に耕作放棄地対策に取り組んでいる農業法人や担い手にもっと支援すべきと思うが。

答弁 町の単独事業で農地流動化補助金があるがこれは農地を借り受ける側に、また農地利用集積対策事業補助金は農地を貸し出す側



▲耕作放棄地

に支援をしています。

質問 流動化できる耕作放棄地に対し町は支援すべきと思うが。

答弁 こうした問題等についても町は積極的に取り組んでいきます。

Q どうする林業再生
A 原発事故の影響で
林業生産活動が
停滞

質問 福島森林再生事業等を活用して私有林や雑木林の再生はできないのか。

答弁 本町の森林面積は5897ヘクタールあり一気にやれる状況はありませんが、今後この森林再生事業をどのように有効に活用していくか検討していきます。

ます。

質問 道の駅構想について今後どのようなスケジュールで進めていくのか、また青写真はありますか。

答弁 道の駅構想の問題については以前、県との相談の中で国道118号沿線が有力となつていきます。今後1年ぐらいで結論をだして方向性を決めていきたいと考えています。

質問 再生可能エネルギー設備導入事業化計画策定で本町の豊富な木材をバイオマス燃料として活用できないか。

答弁 この計画の中では本町の森林の資源は年間2万トンといわれ、まきボイラーやチップボイラー等の熱源として農業や公共施設に活用できれば燃料として木材の供給体制ができるので町としても実施に向け取り組んでいき

質問 今後計画を進めていく中で道の駅専門の担当者を置き、JA、生産者等で協議会を設置し進めるべきと思うが。

答弁 そのように進めてまいります。

提言 道の駅に町の鉱物館も一緒に建設して温泉客等を誘導し町の観光の拠点にしてはどうか提言します。

Q 慣れ親しんだ公民館の存続を

A 生涯学習センターとし、機能を維持します



渡辺 実 議員

質問 慣れ親しんだ公民館の存続を。

答弁 生涯学習センターにし、公民館機能は存続します。

質問 変更の理由は。

答弁 営利目的の事業に規制があるので、多様な利用を可能にします。

質問 教育の違いは。

答弁 社会教育は人々の学習を教育的に高めることであり、生涯学習は生涯にわたる自発的学習活動です。

質問 国でも公民館への期待が高まっている



▲公民館

のに、なぜ変更するのか。

答弁 生涯学習センターでも役割は同じで、極端な変更はありません。

質問 少子化や高齢

化、人口減少など町の課題を人材育成で支えることが必要。貸館業になることが不安。営利事業なら共同福祉や自治センターもある。公民館は1つしかない

い、存続を。

答弁 サブタイトルで「公民館機能」を付するのは問題ないと考えます。

Q 旧雇用促進住宅のアスベスト除去を

A 封じ込め、囲い込みで対策します

質問 アスベストは。

答弁 天井と階段裏から検出されています。

質問 対策は。

答弁 封じ込め、囲い込みで対策します。

質問 除去するべきである。住宅の位置付け

は。

答弁 町の一般住宅です。

質問 家賃の設定は。

答弁 公営住宅と民間賃貸住宅との均衡を図ります。

質問 工事予定は。

答弁 新年度早々に入札をし、工事期間6ヶ月、来年4月に入居できるように進めます。

Q 移住者の促進支援を

A 移住者推進本部を設置し、推進します

質問 移住者の状況は。

答弁 10年間で、8世代25人です。

質問 新規農業者支援

は。

答弁 研修費、農地賃借料、機械リース料、住宅賃貸料などです。

質問 一般移住者支援

は。

答弁 相談窓口を地域づくりにより一本化し、庁内に推進本部を設置し、移住を推進します。

Q 水害防止に河川の堆積土砂対策は

A 土砂が原因の洪水も懸念



中村孝太郎 議員

質問 北須川の水害対策に千五沢ダムの改修が進められています。防災マップや避難訓練も大事ですが、災害を出さない対策も大事です。近年は川床が上昇し島ができ、川の流れの妨げや支流への逆流など水害の原因ともなっています。

回答 北須・今出川の堆積土砂が原因の洪水も懸念されることから県では堆積



▲橋だって景観に一役

した土砂の撤去を計画的に進めています。今後も継続して実施していきます。

質問 北須・今出川に沿って桜並木など自然の景観に恵まれています。整備された橋は一層景観を際立たせます。塗装の剥げや老朽で通行止めもありません。橋梁の長寿命化政策の調査結果と対策を伺

回答 これまでに130橋を点検し、健全な橋48橋、予防保全段階75橋、早期措置段階は7橋です。早期措置段階橋は修繕計画を策定し修繕を進めています。

質問 12月議会の障がい者の所得を得る場所や機会の必要性に対する質問に「早急に検討に入る」と前向きな回答でした。障害者が日常生活や社会生活するための場所や機会の対策としての基幹相談支援センターや地域活動支援センターの設置について伺います。

回答 障がい者が地域で自立するためにはどのような相談機能や体制が必要か関係機関と協議をしています。障がい者が安心して地域で暮らせる基幹相談支援センター設置の取り組みを進めます。障がい者の生活意欲の向上や自立のための日中活動の場としての地域活動支援センターの事業を実施します。

質問 石川町の人口減少は国の推計より早いスピードで進んでいます。石川の人口は転入よりも転出が他町村よりも多く、出生率も重要ですが、転入や定住の政策も重要です。

回答 安心して生活できる地域の社会活動機能を維持するための適正な人口規模を数値化する事は出来ませんが、地域の社会経済活力や出生に大きく影響する生産年齢人口の流失を抑制し、流入人口を増やすことは重要と考えます。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成29年3月
定例会より

旧役場本庁舎跡地 利活用について



▶新設のまちなかトイレ

●旧役場本庁舎跡地については、長年のまちなかの駐車場不足を解消するため大型観光バスも駐車可能なまちなか駐車場として整備され、まち歩きの新たな拠点としての利活用が期待されています。特に桜の季節に訪れる観光客の駐車場としては立地も良く、今後の観光客の増加に

●旧役場本庁舎跡地は、まちなかトイレと石川分団第4部の消防屯所が合築の建物として建築されました。観光客だけではなく地域の新たな拠点施設としても活用されます。

また、駐車場内には、まちなかトイレ

も寄与するのではないかと期待しています。

また、駐車場内には、まちなかトイレと石川分団第4部の消防屯所が合築の建物として建築されました。観光客だけではなく地域の新たな拠点施設としても活用されます。

まちなか駐車場、まちなかトイレは平成30年4月より供用が開始されました。

保育料の無料化



▶楽しいお誕生会

●石川町では、子育てしています。てにかかる経済的な負担を軽減し、子育てしやすいまちづくりを推進するため、平成30年4月より3歳から5歳までの児童の保育料等を軽減に町税等の未納がないこと等があります。

軽減の対象は「基本保育料」で、教材費や延長保育料等は、対象になりません。その他例外規定等がありますのでご確認ください。

●石川町では、子育てしています。対象要件は、①町内に住所を有し、生活を営んでいること。②当該年度前日に、3〜5歳に達していること。③保護者等に町税等の未納がないこと等があります。

軽減内容 (概略)	認定区分	(町税等)未納無し	(町税等)未納有り
	1号(3～5歳の幼稚園)	無料	現行、基準どおり
	2号(3～5歳の保育所)	4,500円	
	3号(0～2歳の保育所)	現行、基準どおり	
沢田児童館(3～5歳の児童)	無料		

町民の意見を聞く会

廃校舎・未利用町有地の利活用

- 1 旧南山形小学校の利活用としてスポーツ選手の宿泊施設などを検討してはどうか(自転車ロードレースがある)。
- 2 若者、子育て世帯に対する定住政策を積極的にPRしてほしい。

防災対策

- 北町地内に避難所の設置を。湯郷渡地区に町指定避難所を。天升作地内の防火用水が不足している。

河川整備

- 河川の中州除去の対応をしてほしい。

地域自治

- 1 地域自治と自治協議会のかかわりについての方向性を出してほしい。
- 2 自治センターに、係長クラスの職員を置いてほしい。



▲中谷自治センター会場

1月16日、17日、18日の3日間、町内6ヶ所で「第6回議会報告と町民の意見を聞く会」が行われ、夕方の忙しい時間帯にもかかわらず多くの方々に参加いただきました。

町全体の課題から各地域の課題、議員としての活動への要望など熱意あふれる提言、意見要望が交わされました。

昨年の「町民の意見を聞く会」の報告、29年度の議会での審議経過への質問など議員としての活動に真剣かつ厳しいご意見もいただきました。今後のまちづくりに生かせるよう真摯に取り組んでいきたいと考えます。

議会運営・議会(議員)活動

- 1 一般質問の質問事項が重複しないよう調整してほしい。
- 2 議員の立場で企業誘致に努力してもいいのでは。
- 3 子ども議会を取り入れてほしい。
- 4 町は「検討したい」との答弁が多い。議員はもっと踏み込んだ議論をしてほしい。
- 5 地区民の声を町行政に反映させてほしい。

第6回 議会報告と

各地区参加者

石川地区……22名 沢田地区……32名
山橋地区……25名 中谷地区……31名
母畑地区……26名 野木沢地区……29名



▲野木沢センター会場

森林整備

- 1 原発事故により雑木の利用(出荷)ができない。出荷制限の解除をしてほしい。
- 2 森林再生事業で雑木林の整備ができないか。

道の駅整備

- 道の駅構想はどうなったのか？各地域のものづくりには道の駅が必要。

企業誘致・雇用創出

- 1 企業誘致は若者のために必要。既存企業の育成も大切。
- 2 IT産業化が進んでいる中で堅固な地盤を生かした情報関連企業の誘致が必要。

子育て支援

- 1 保育士不足で受け入れが難しいと言われている。保育士の増員も必要。
- 2 保育所の送迎が大変である。送迎バスを運行してほしい。



報告します 議会の活動



▲町村議会議員研修

町村議会 議員研修会

2月1日、ビックパレットふくしまで町村議会議員研修会が開催されました。明治大学政治経済学部教授 牛山久仁彦氏より、「自治体議会と地方創生」、また、政治ジャーナリスト 泉宏氏より「難題に直面する安倍一強政権」について講演を受けました。

未来に向かつて

・高校生の声

学法石川高校

3年 南條

風沙 なぎさ

今頑張っていること

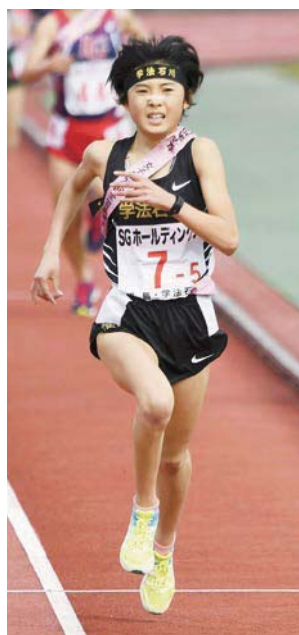


南條風沙さん

私が今頑張っていることは、勉強と部活動の両立です。毎日の練習があるなか、希望校に合格するため勉強にも取り組んでいます。勉強は、評定を上げるために休み時間や家庭での時間を活用しています。また、授業に真剣に参加する、課題を期日までに提出する、といった当たり前のことを怠らないよう

にしています。

部活動は、陸上競技部に所属しています。日々きつい練習ばかりですが、大会で良い成績を残すと嬉しい気持ちでいっぱいになります。高校二年生時には、初めての全国高校駅伝大会でアンカーを走り、15位という歴代最



▲全国高校駅伝大会 (2017年12月25日 福島民友新聞掲載)

高順位でゴールすることが出来ました。このように大会の結果が新聞に載ると、石川町民の方々が声をかけてくれます。石川町出身である私を応援してくれていると思うと、力が湧いてきます。

今年進路を決める大切な年です。文武両道で自分の目指す進路を実現したいです。そして今は、中学一年生から出場している福島駅伝でしか町のために貢献していないので、将来は町がより良くなるために様々なことに取り組み石川町の発展のために貢献したいと思います。

編集後記

全国的にも、また記録的にも早い桜の開花の中で、石川町のソメイヨシノも4月4日に開花し、昨年より10日早い開花でありました。今出川河畔の桜は、小中学校の入学式を祝うかのように満開の花

を咲かせ、その後、寒さが戻り14日の桜まつりまで花が長持ちし、大勢の花見客を楽しませてくれました。

桜の花の中の入学式という情景はうれしいのですが、温暖化の先には何が待っているのでしょうか。不安もよぎります。

瀬谷寿一

議会を
傍聴しませんか
6月定例会「一般質問」は
6月11日(月)の
予定です。

議会広報編集 特別委員会

委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重